

## 目次

第1章	<u>「Streaming Center」を始める前</u>	
	1-1. 『Streaming Center』のインストール	2
	1-2.動作環境・仕様について	2
第2章	<u>メインメニュー、配信ウィンドウの見方</u>	
	2-1.配信ウィンドウの見方(簡易モード)	3
	2-2.配信・録画の手順	4
	2-3.複数プラットフォームでの配信	15
	2-4.映像出力の設定	17
	2-5.オーディオエフェクトの設定	22
	2-6.音声の監視	27
	2-7.シーン機能&ソース (PiP機能)	28
	2-8.その他機能紹介	34
第3章	<u>ディレクターモード</u>	
	3-1.ディレクターモードについて	37
	3-2.配信ウィンドウの見方(ディレクターモード)	38
	3-3.配信画面の編集・切り替え	39
第4章	<u>設定</u>	
	4-1.各種設定	41
	4-2.デバイスの設定	47
	4-3.プロファイル	48
	4-4.会員情報	49
第5章	<u>その他の情報</u>	50

## 第1章：『Streaming Center』を始める前に

### 1-1. 『Streaming Center』のインストール

#### Step 1. 『Streaming Center』の特設ページ

下記URLよりダウンロードができます。

(<https://www.avermedia.co.jp/product-detail/StreamingCenter>)

または、Streaming Centerに対応した各製品ページにアクセスし最新バージョンの『Streaming Center』をダウンロードしてください。

#### Step 2. ダウンロード完了後、アイコンをダブルクリックして、インストーラーを起動します。

画面の指示に従ってインストールを実行します。



### 1-2.動作環境・仕様について

- ・『Streaming Center』の最新アップデート情報はこちらでご覧いただけます。  
<https://www.avermedia.co.jp/product-detail/StreamingCenter>
- ・『Streaming Center』に対応する各製品（例:GC553Proなど）の製品ページに記載された動作環境/仕様/Q&Aをご参照ください。  
<https://www.avermedia.co.jp/products/4k-capture>  
<https://www.avermedia.co.jp/faq/index.html>

## 第2章：メインメニュー、録画／配信ウィンドウの見方

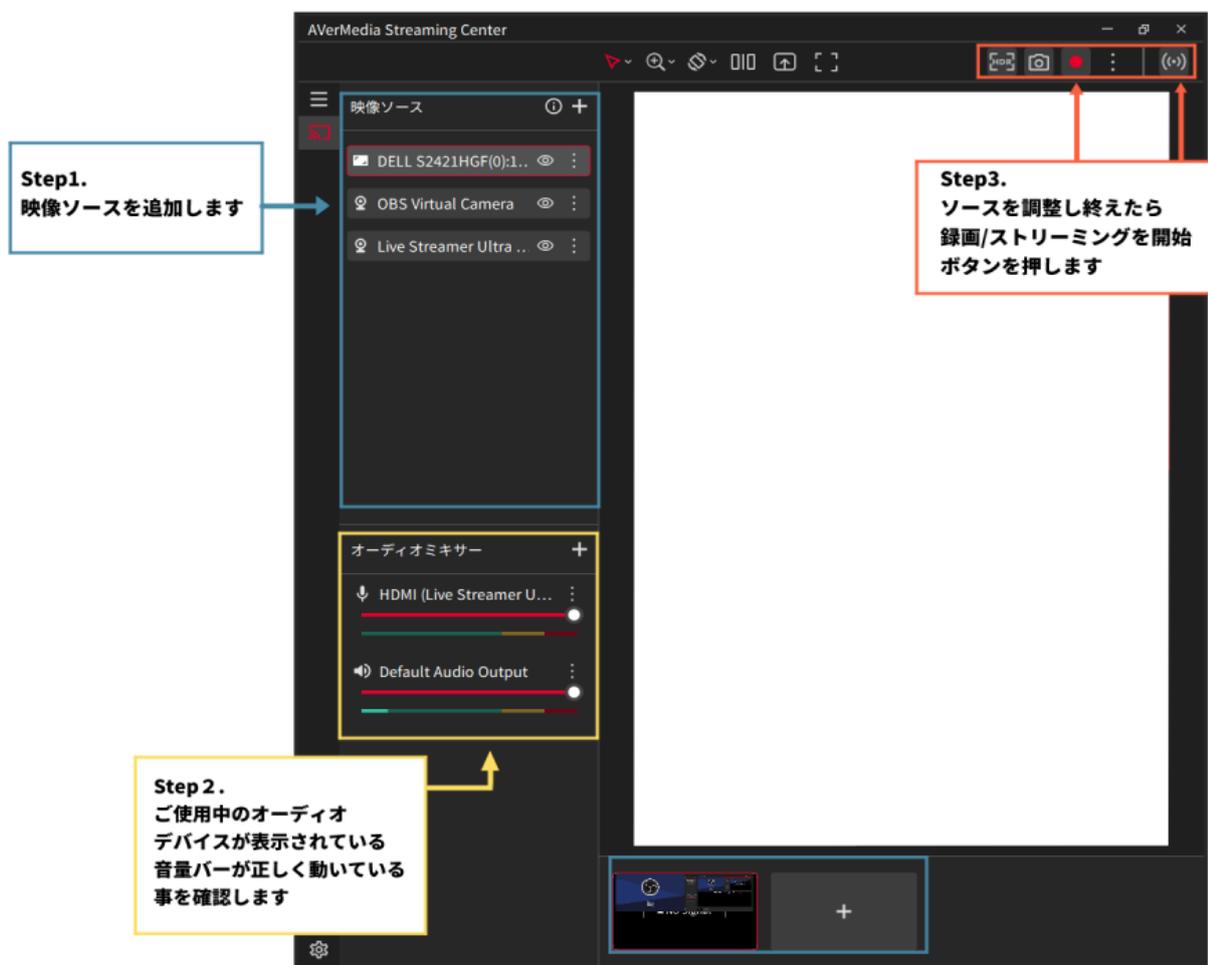
### 2-1. 配信ウィンドウの見方(簡易モード)



1	映像ソース	映像ソースを選択・設定します
2	オーディオミキサー	音声ソースを追加・音量の調整 もしくは音量のミュートのオン/オフを切り替えます
3	各種設定	ユーザー情報や各種設定を開きます
4	各種ツール/切り替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像ソースの移動方法を切り替えます</li> <li>ソースの拡大/縮小を行えます</li> <li>ソースの縦/横・反転の切り替えができます</li> <li>簡易モード/ディレクターモードを切り替えます</li> <li>プレビューウィンドウを開きます</li> <li>フルスクリーンモードに切り替えます</li> </ul>
5	録画/スナップショット	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDR録画の有効/無効を切り替えます</li> <li>スナップショット(静止画)を撮ります</li> <li>録画を開始/停止(保存)します</li> </ul>
6	配信開始ボタン	配信の設定はここから行います
7	録画/配信ウィンドウ	ソースの映像画面を表示します 配置の移動などもここで行います
8	シーン	シーンの追加・削除・切り替えを行えます

## 2-2.配信・録画の手順

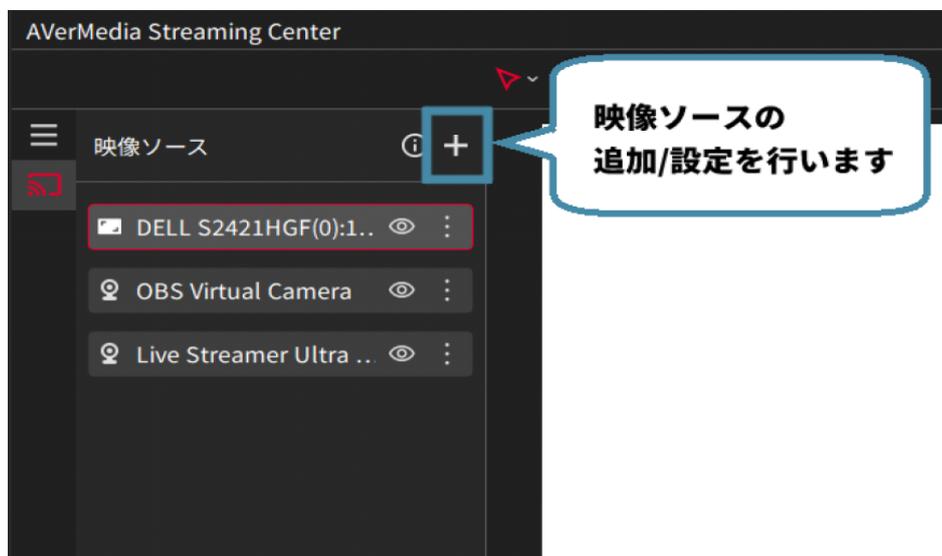
### 【表示画面について】



こちらのマニュアルでは簡易モードを使用した場合の手順で解説します

## STEP 1: キャプチャーデバイスの選択/設定

接続中のキャプチャーデバイスの一覧から、使用するキャプチャーデバイスを選択します。「+」のアイコンをクリックすると、キャプチャーデバイスの設定画面が開きます。



### ※注意

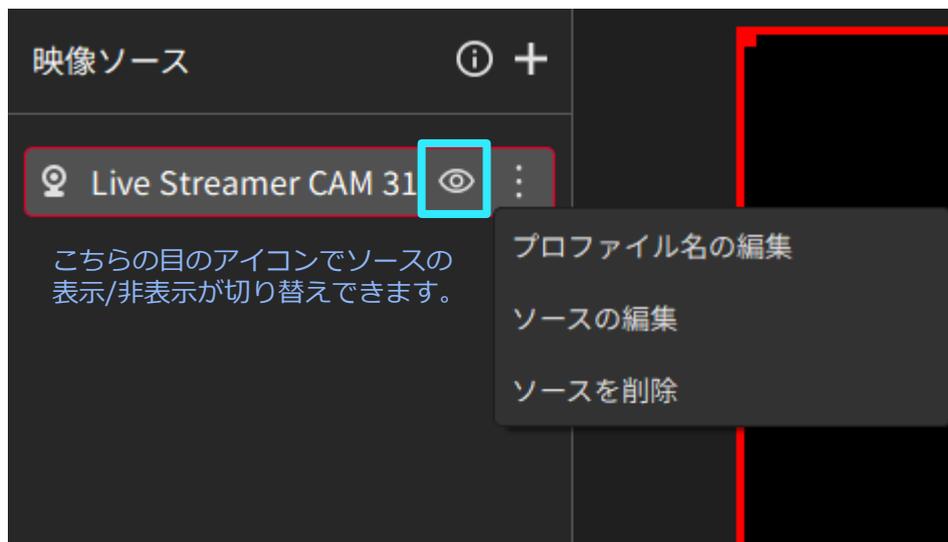
キャプチャーデバイスが正しく接続されていない  
もしくは専用ドライバが正しくインストールされていない場合は  
キャプチャーデバイスが『Streaming Center』に認識されません。

## 映像ソースを追加するには

カメラ/キャプチャカードのソースが選択されている事を確認し  
OKボタンをクリックすると映像ソースに選択したデバイスが追加されます。



その後、表示されるソースの編集ウィンドウの各項目から詳細な設定を行うことが可能です。  
ソースの編集が完了しましたら「閉じる」ボタンをクリックしてください。  
ソース編集の詳しい説明に関しましては[2章 2-3](#)をご確認ください。



映像ソースが追加されました。  
各ソースの右にある「目」のアイコンをクリックするとソースの表示/非表示を切り替えられます。  
「…」をクリックすると出てくるウィンドウではプロフィール名の編集、  
ソースの編集、ソースの削除が行えます。

※ 注意: 設定可能な項目はキャプチャーデバイスの機種・仕様により異なります。

## STEP2: オーディオミキサーの設定

接続中のオーディオデバイスの一覧から、使用するオーディオデバイスを選択します。  
[+]のアイコンをクリックすると、オーディオの設定画面が開きます。



### ※注意:

オーディオデバイスが正しく接続されていない  
もしくは専用ドライバが正しくインストールされていない場合は  
キャプチャーデバイスが『Streaming Center』に認識されません。

オーディオ入力では接続された外部オーディオ機器を選択することができます。  
音声出力ではパソコンから出力される音楽や音声をキャプチャーすることができます。  
ご利用中の任意のデバイスを選択し、OKボタンをクリックしてください。



任意のデバイスを選択したらOKボタンをクリックし、音声ソースを追加してください。



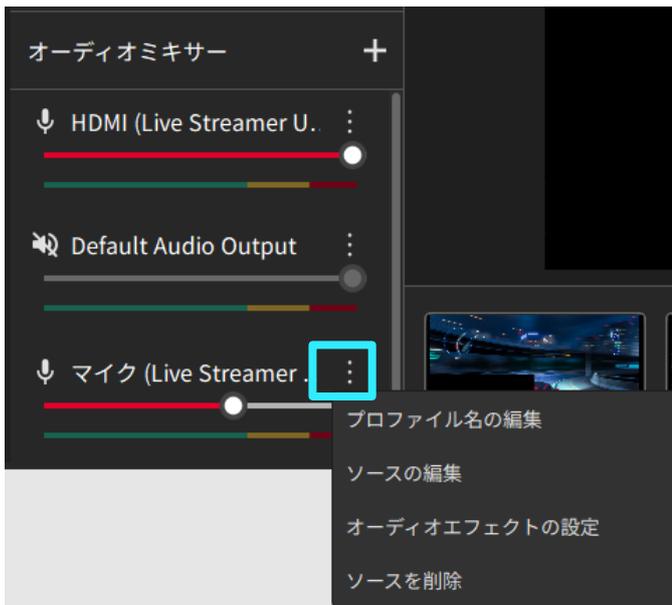
音声ソースが追加されました。

「…」をクリックすると出てくるウィンドウではプロフィール名の編集、ソースの編集、オーディオエフェクトの設定(一部デバイス)、ソースの削除が行えます。

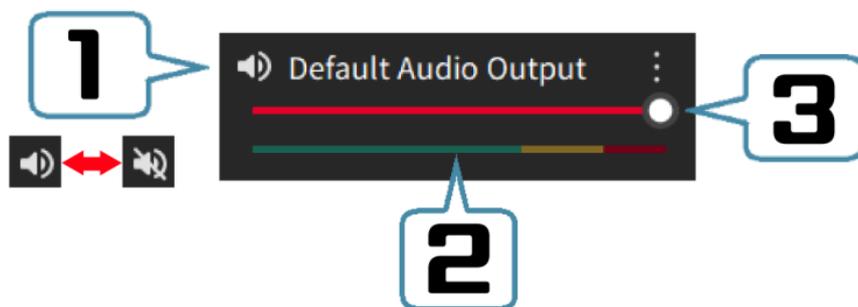
オーディオエフェクトの詳しい説明に関しましては2章2-4をご確認ください。

※デフォルトで追加されているソースは削除できません。

※ 注意: 設定可能な項目はキャプチャーデバイスの機種・仕様により異なります。



### 【設定画面について】



1	ミュート切り替え	音声のミュートを切り替えできます
2	音量バー	入力された音声の音量が確認できます
3	音量調整バー	入力される音量を小さくすることができます

### STEP3: 録画・ストリーミングの開始

映像ソース・音声ソースを追加し終えたら録画・ストリーミングを開始する準備をします。

#### ストリーミング(配信)の場合

①画面右上のストリーミング開始ボタンをクリックします。

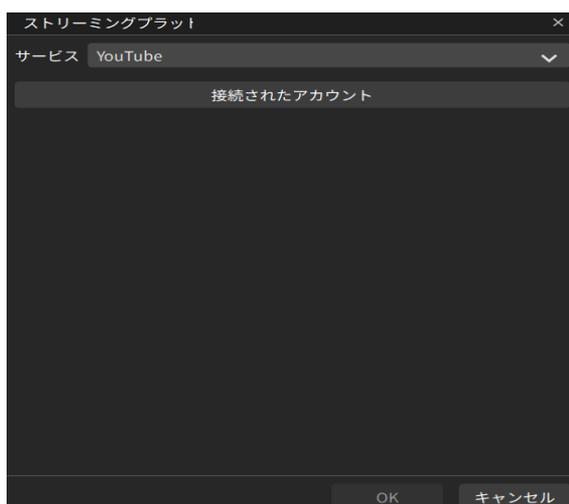


②ストリーミング開始ボタンをクリックすると初回は設定画面が開きます。  
ストリーム設定の[ストリーミングプラットフォームの追加](#)から初期設定を行います。

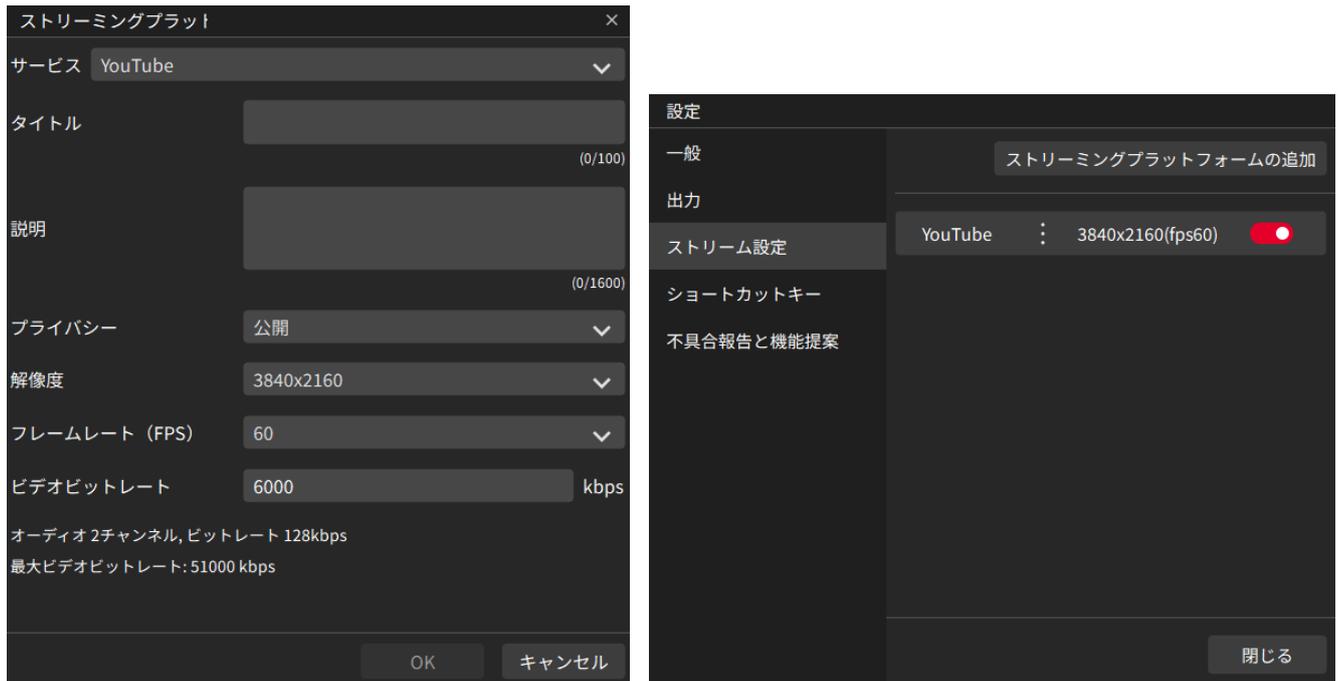


③ストリーミングプラットフォームの追加を押すと画像と同様のウィンドウが開きます。

サービスのプルダウンから任意のプラットフォームを選択し  
[接続されたアカウント](#)をクリックし、各プラットフォームからログインしてください。



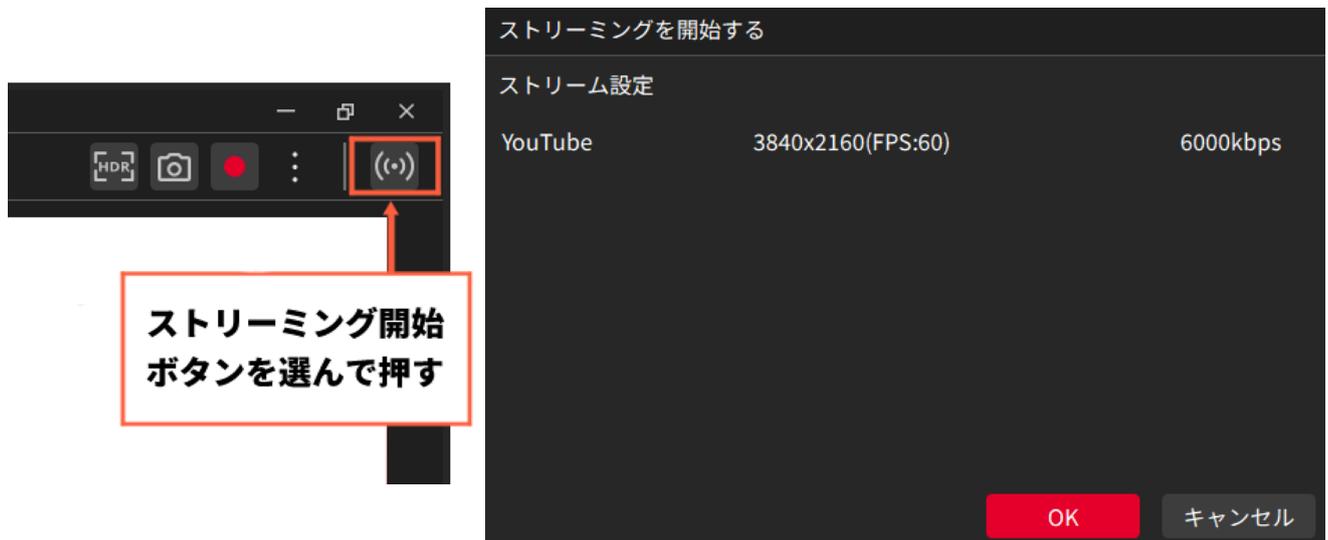
## 一例としてYouTubeで接続した際のウィンドウを紹介します。



各種項目を入力・選択し、OKボタンを押し  
ストリーム設定欄に選択したプラットフォームが表示されていることを  
確認したらウィンドウを閉じます。

メインウィンドウに戻り、ストリーミング開始ボタンを押すと  
右のウィンドウが開きます。

この状態でOKボタンを押すと**設定された内容で即座に配信が開始されます。**

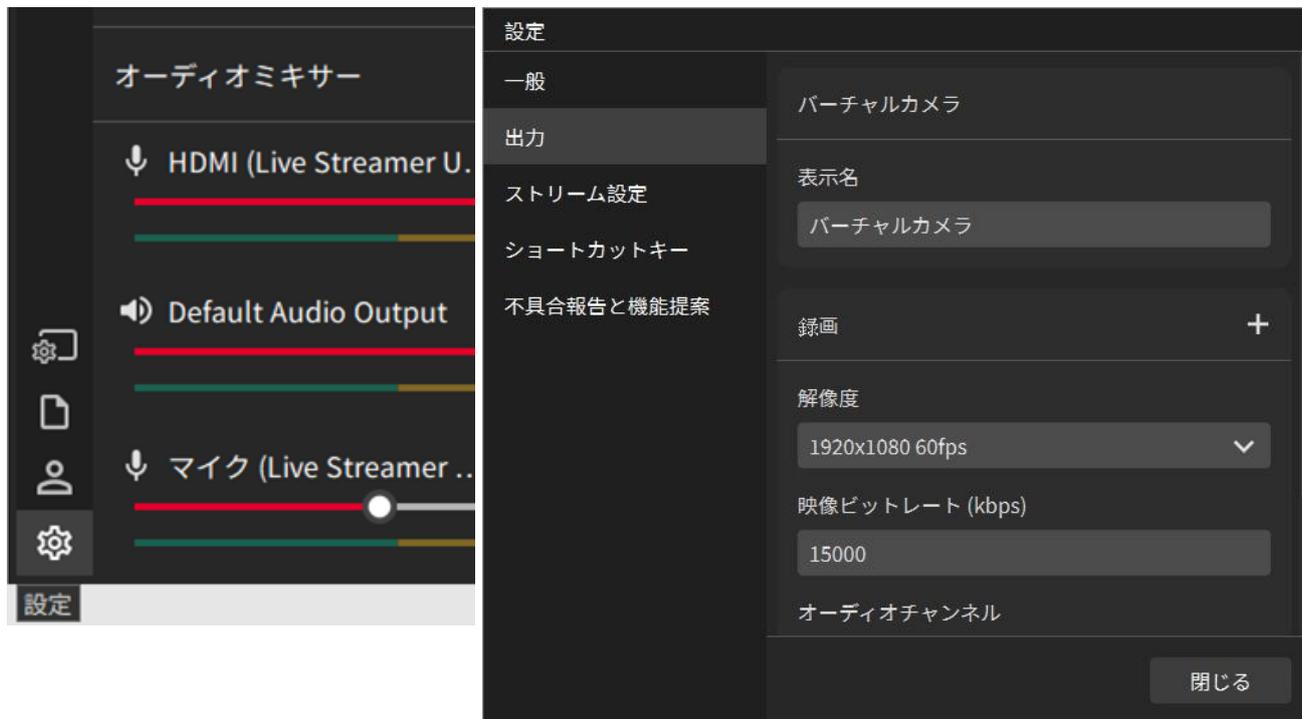


もう1度ボタンを押すと、ストリーミングを停止することができます。



## 録画を開始する場合

録画を開始する場合はまず録画出力の設定を行います。  
画面左下の設定アイコンをクリックし、設定ウィンドウを開きます。



設定の出力タブから録画の出力設定を行います。  
「+」アイコンをクリックするとより詳細な設定を追加することができます。

出力設定が完了したら録画開始ボタンをクリックします。



録画を開始するボタンをクリックすると直ぐに録画が開始されます。

録画中は経過時間が表示されます。

一時停止ボタンを押すと録画を一時停止でき、もう1度押すと録画を再開できます。



録画ボタンをもう1度クリックすると録画が停止され、指定された保存先に動画が保存されます。

保存された動画を確認するには録画ボタン右の「…」をクリックし、保存先を参照してください。

## VRR録画モード(可変リフレッシュレート)について

AVerMedia製品の中にはVRR録画モードに対応した製品がございます。  
VRR録画モードを有効にすると画面のちらつきやカクつきなどを軽減し、  
より滑らかで快適な映像表示・録画を実現します。

対応製品を接続しソースに追加すると、ソース左上に画像のようなウィンドウが表示  
されます。



「VRR録画モードを有効にする」をクリックすることで有効/無効を切り替えることができます。

VRR録画モード(可変リフレッシュレート)は対応製品を接続している場合にご利用いただけます。

対応製品:Live Gamer ULTRA2.1 GC553G2、Live Gamer ULTRA S GC553Pro、  
、Live Gamer 4K 2.1 GC575

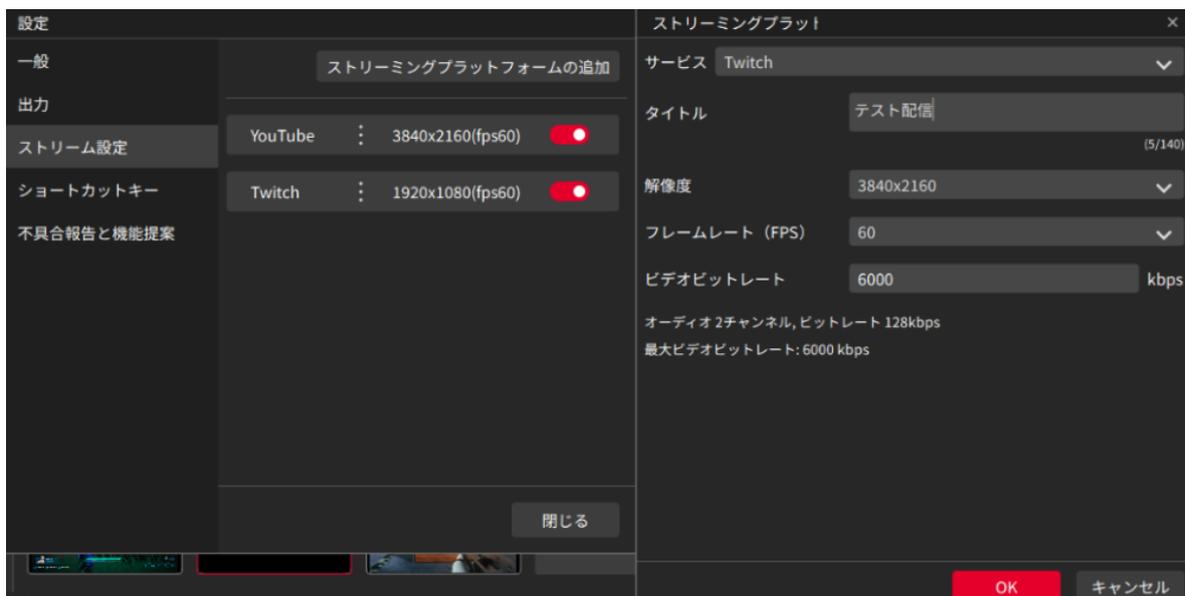
## 2-3.複数プラットフォームでの配信

『Streaming Center』では、簡単な手順で複数のプラットフォームでの配信を行うことができます。(例：youtube・twitch同時配信など)

画面左下の設定を開き、ストリーム設定の項目右上の「ストリーミングプラットフォームの追加」をクリックしてください。

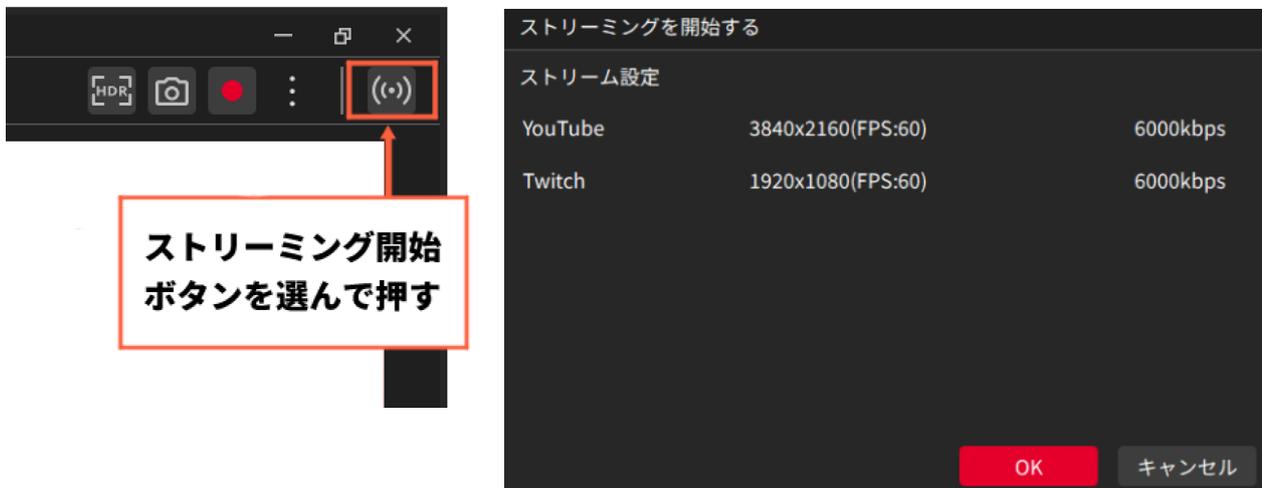


2-2でご紹介したプラットフォームの追加方法と同様に任意のプラットフォームを入力します(例：Twitch)



メインウィンドウに戻り、ストリーミング開始ボタンを押すと右のウィンドウが開きます。

この状態でOKボタンを押すと表示されているプラットフォーム上で設定された内容で即座に配信が開始されます。



もう1度ボタンを押すと、ストリーミングを停止することができます。



配信するプラットフォームはストリーム設定からスイッチでON/OFFを切り替えることができます。

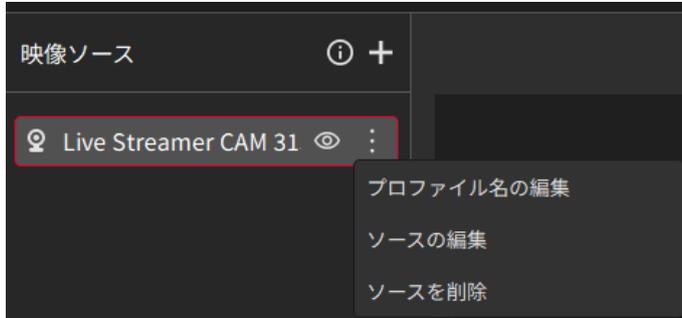


## 2-4.映像出力の設定

### 映像出力を指定/編集します。

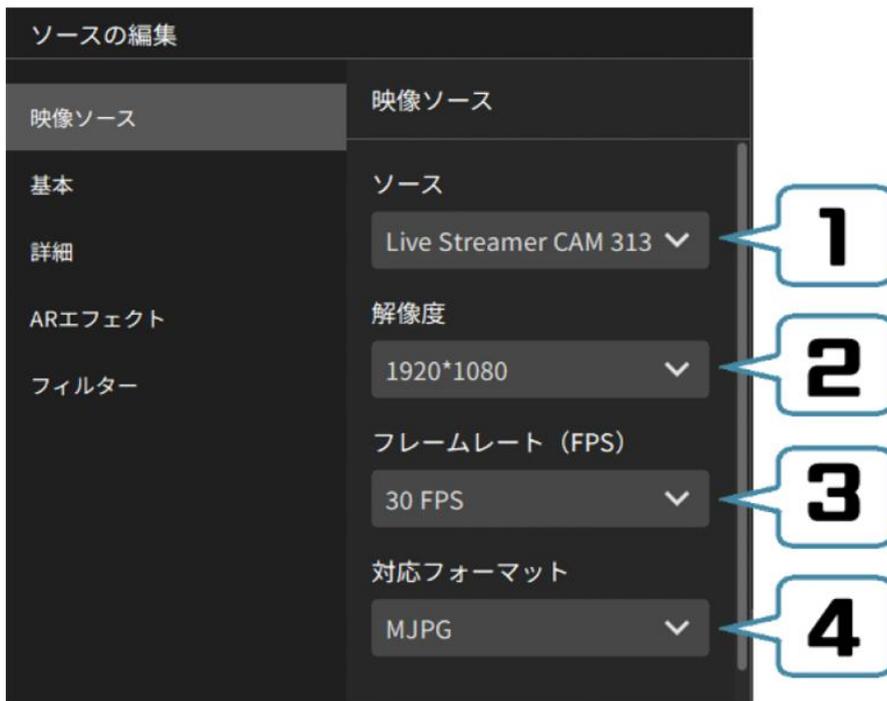
ここではWebカメラ(Live Streamer CAM313)の設定例をご紹介します。

※ 注意: 設定可能な項目はキャプチャーデバイスの機種・仕様により異なります。



追加されている映像ソースの「…」ボタンをクリックしソースの編集をクリックしてください。ソースの編集ウィンドウが開きますので、各項目から詳細な設定を行えます。

### 【表示画面について】



1	映像ソース	接続されている他の映像デバイスに切り替える事ができます
2	解像度	ソースの解像度を変更できます (例:1920x1080、1280x960、1280x720、800x600、640x480、320x240)
3	フレームレート(FPS)	フレームレートを変更できます (例:30.25.20FPS)
4	対応フォーマット	対応フォーマットを変更できます (例:MJPG.YUY2)

※ 注意: 選択できる解像度・フレームレート(FPS)・対応フォーマットはご利用になるデバイス・環境によって異なります。

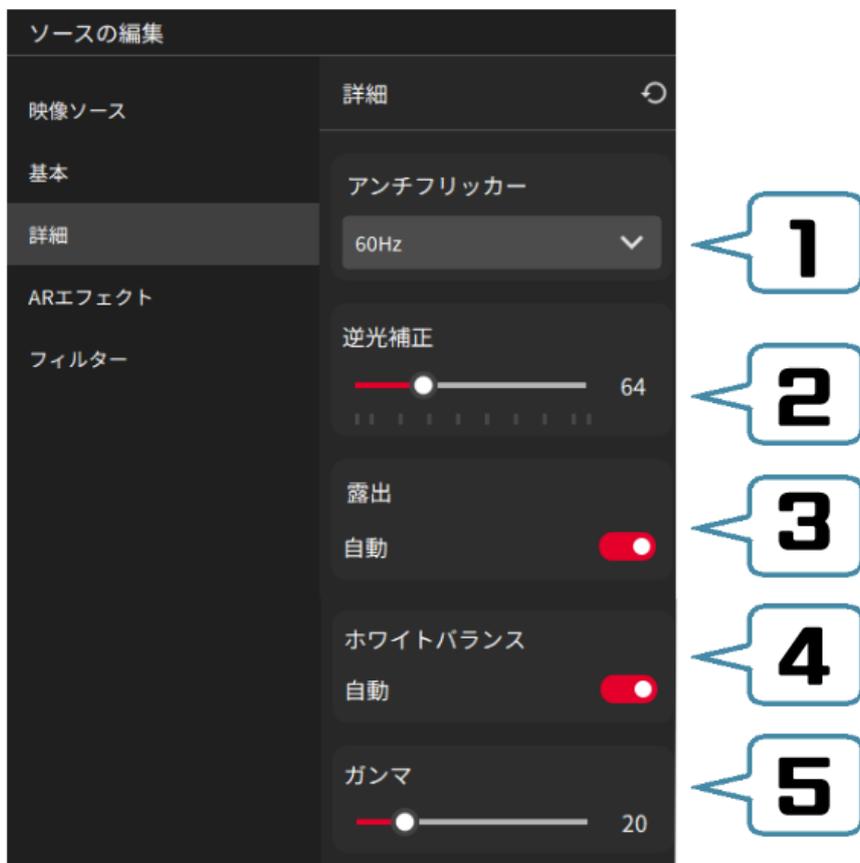
**基本タブではカメラの明るさやコントラストなどを調整できます。**



1	明るさ	映像の明るさを調整できます
2	コントラスト	映像のコントラストを調整できます
3	色合い	映像の色合いを調整できます
4	彩度	映像の彩度を調整できます
5	鮮明度	映像の鮮明度を調整できます

※右上の「デフォルト」ボタンを押すことで初期設定に戻すことができます。

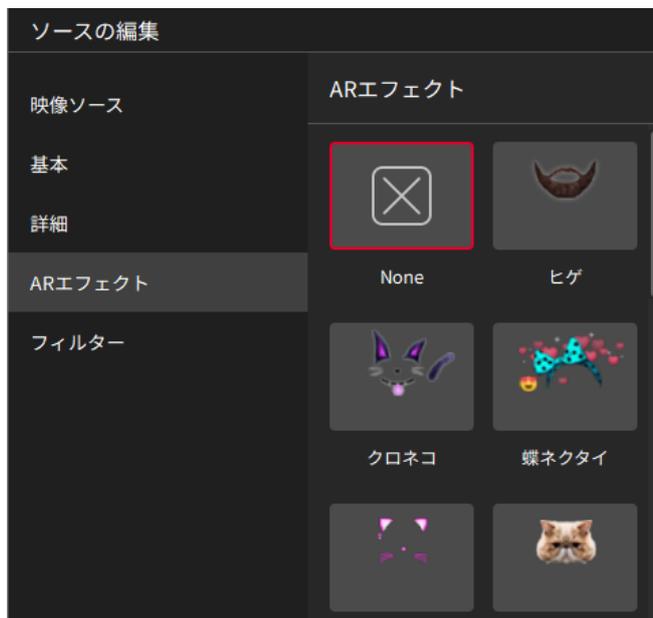
## 詳細タブではカメラの映りに関する項目を設定できます。



1	アンチフリッカー	LEDなどの照明の点滅を抑える機能です。照明側のフリッカーに合わせて設定します
2	逆光補正	映像のコントラストを調整できます
3	露出	露出の自動を切り替えます(ON/OFF)
4	ホワイトバランス	ホワイトバランスの自動を切り替えます(ON/OFF)
5	ガンマ値	ガンマ値の数値を調整できます

※右上の「デフォルト」ボタンを押すことで初期設定に戻すことができます。

ARエフェクトタブでは映像にエフェクトを追加できます。

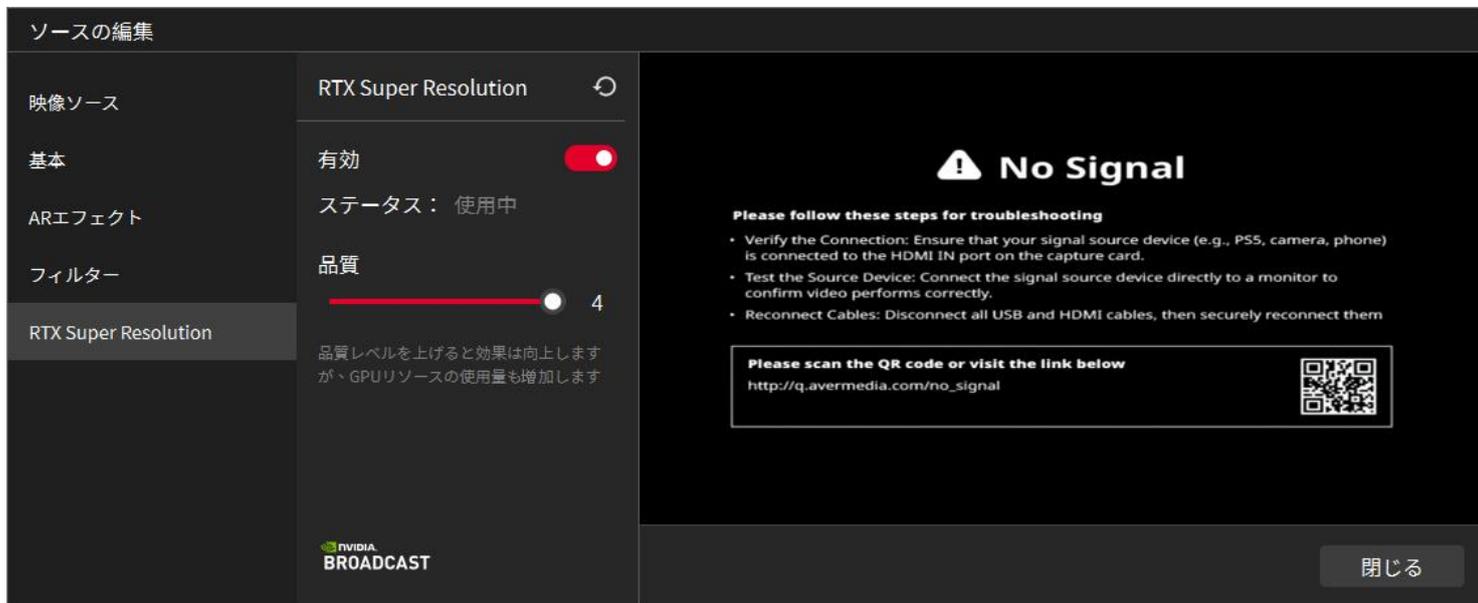


フィルタータブではビデオノイズ除去のON/OFFが変更できます。



## RTX Video Super Resolution

NVIDIA RTX GPUのAI処理により、低解像度の映像をリアルタイムで高画質にします。



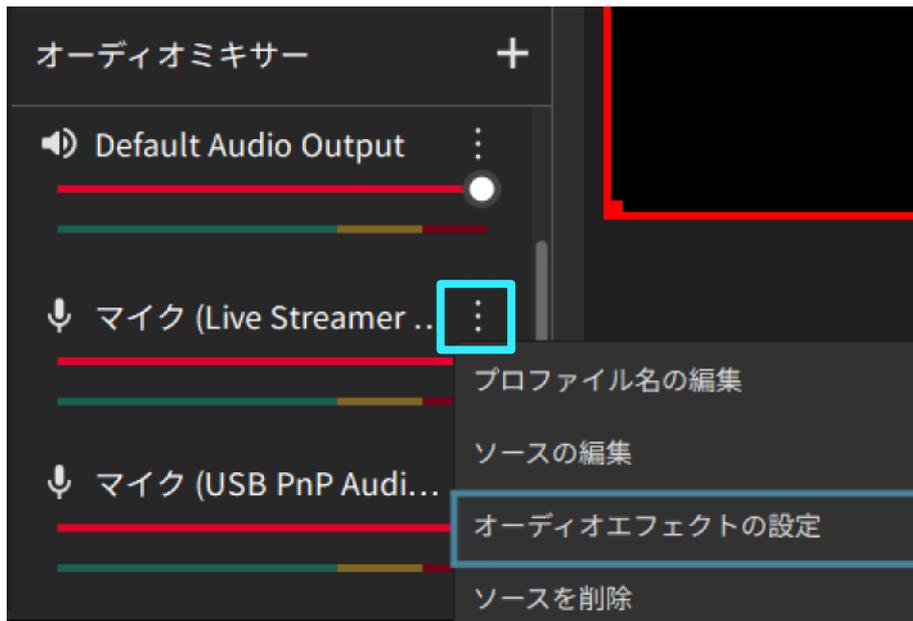
※ NVIDIA RTX グラフィックスカードおよび対応ドライバーが必要です。

※ 本機能は画質の向上を目的としており、破損した映像ファイルの修復はできません。

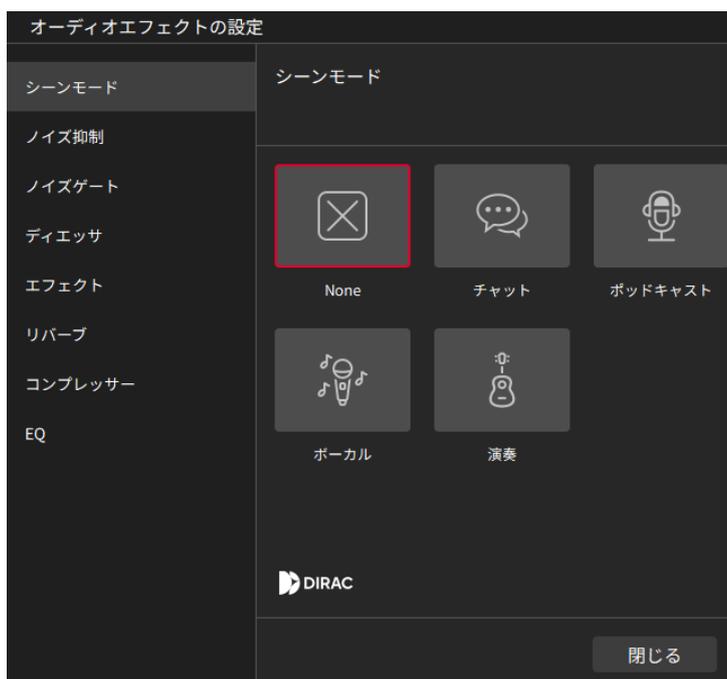
## 2-5.オーディオエフェクトの設定

オーディオミキサーに追加された音声入力デバイス(マイク)にはオーディオエフェクトを追加することができます。

オーディオエフェクトを追加するにはオーディオミキサーの項目から対応したデバイスの「…」をクリックし、オーディオエフェクトの設定をクリックしてください。

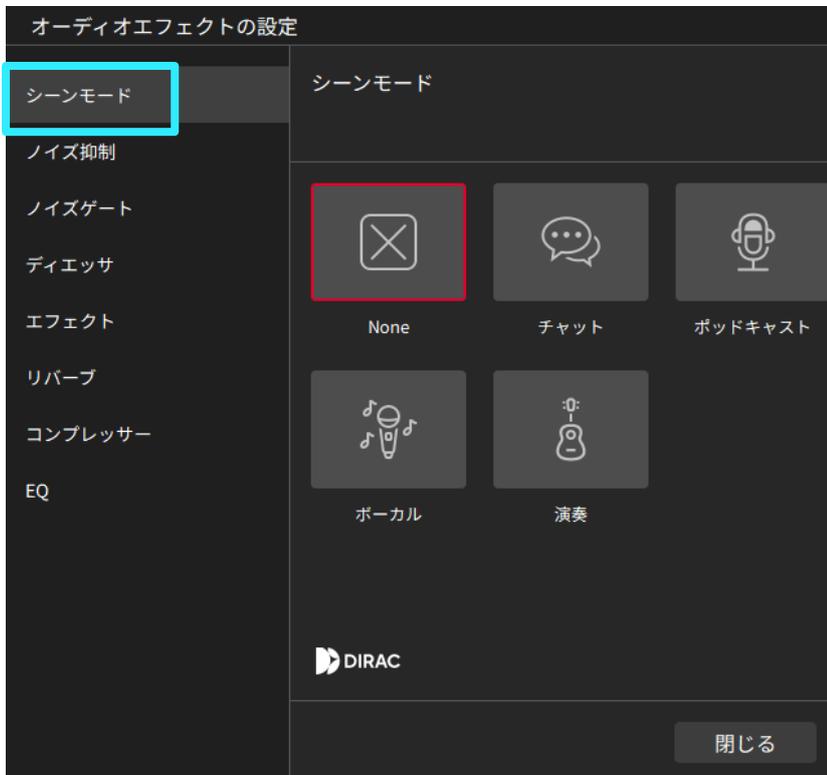


オーディオエフェクトの設定をクリックすると設定ウィンドウが開きます。各項目でオーディオエフェクトに関する設定を行うことができます。



## 1. シーンモード

シーンモードは各アイコン用に最適化されたエフェクトセットを適用できます。ご利用目的に合うものがございましたらお試しください。



## 2. ノイズ抑制

ノイズ抑制の項目では「エコーキャンセラー」と「ノイズ抑制」の機能を選択できます。

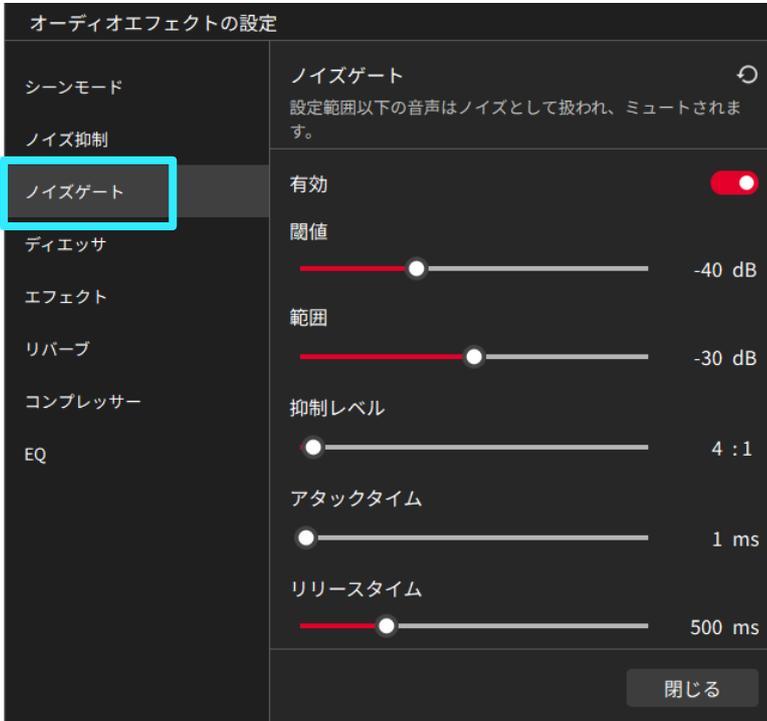
ノイズ抑制はアバーメディアAIの他に、NVIDIA Broadcastを導入されている方はNVIDIA ノイズ除去も選択することができます。



### 3. ノイズゲート

ノイズゲートは設定した範囲以下の音声をミュートにすることができます。

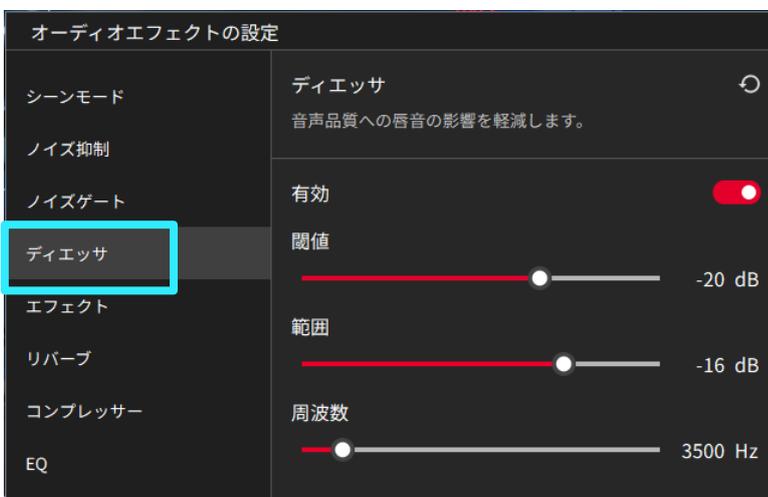
マイク音声に小さな環境音や物音が入ってしまう場合などにご利用ください。右上のデフォルトボタンで初期値に戻すことができます。



### 4. ディエッサ

ディエッサは唇音の影響を軽減するエフェクトです。

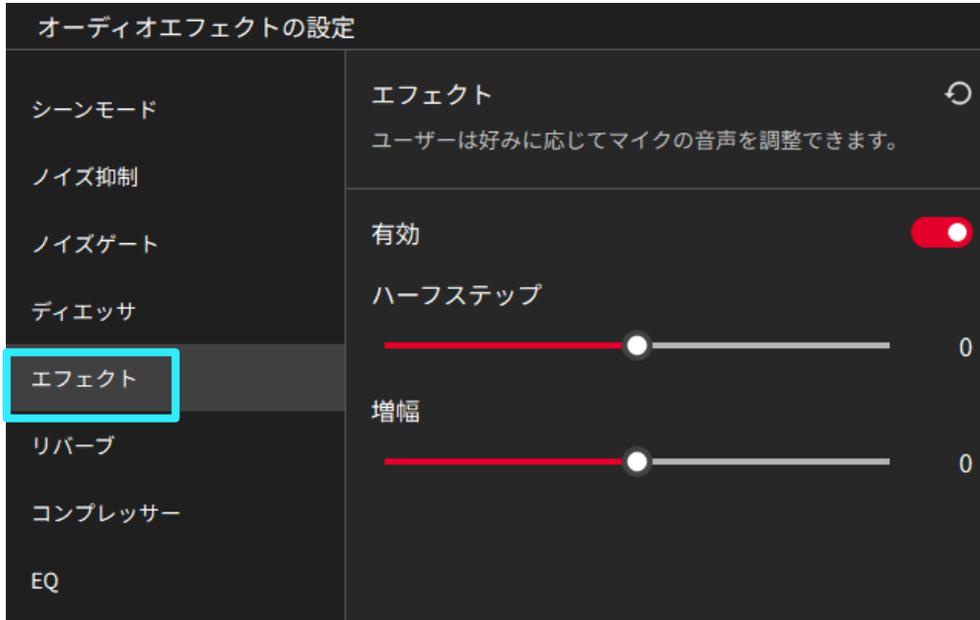
各数値をスライダーで調整し、ご利用ください。右上のデフォルトボタンで初期値に戻すことができます。



## 5. エフェクト

エフェクトはマイクの音声を調整するエフェクトです。  
数値を上げすぎるとノイズの原因になりますのでご注意ください。

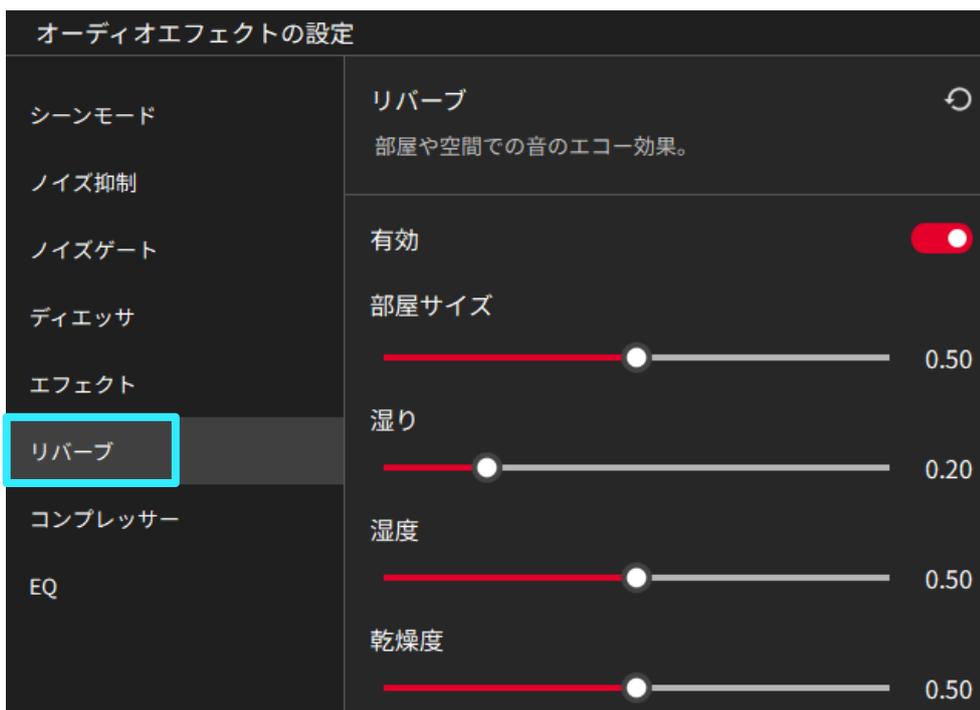
右上のデフォルトボタンで初期値に戻すことができます。



## 6. リバーブ

リバーブは音に残響や反射音を加えて空間的な広がり、深み、臨場感を与えるエフェクトです。  
スライダーで各項目の効果を強めたり弱めたりできます。

右上のデフォルトボタンで初期値に戻すことができます。



## 8. コンプレッサー

コンプレッサーは音量差をコントロールし、音量レベルを一定に保つエフェクトです。スライダーで各項目を調整できます。

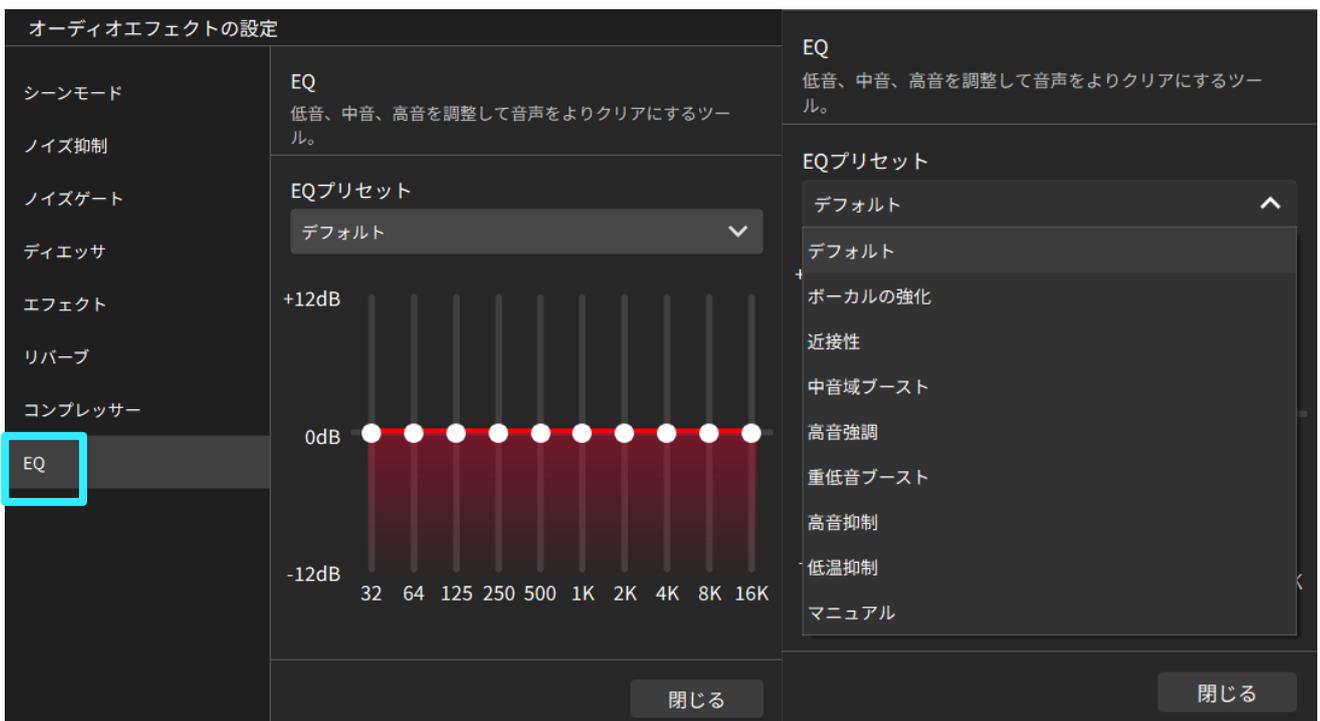
右上のデフォルトボタンで初期値に戻すことができます。



## 9. EQ(イコライザー)

EQ(イコライザー)では低音、中音、高音の調整を行うことができます。

手動で調整する他、各種プリセットもご用意しておりますのでこちらもご活用ください。

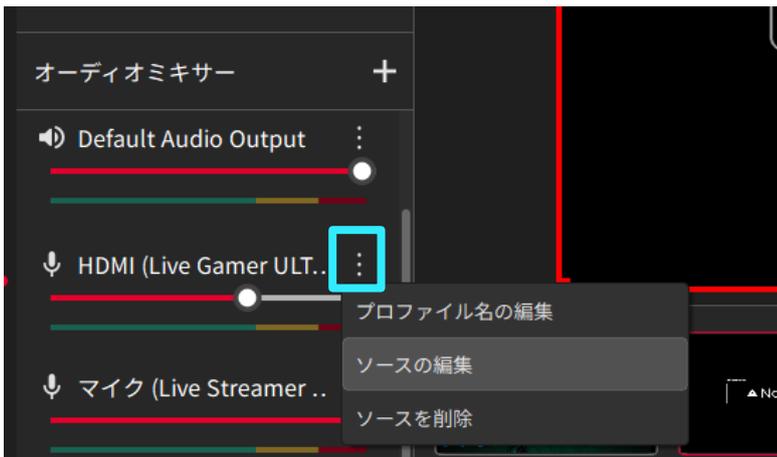


## 2-6.音声の監視について

**『Streaming Center』にはオーディオミキサーに登録されているデバイスの  
音声を聴く機能が搭載されています。**

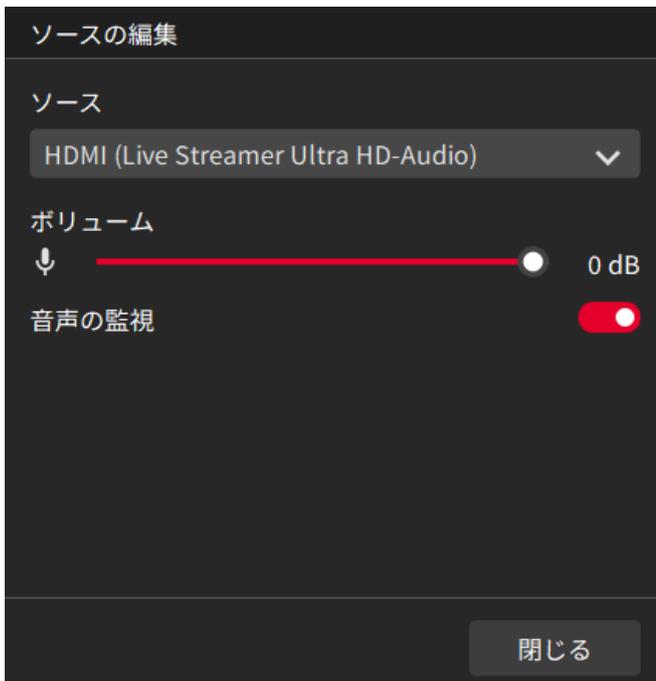
この機能を使うことにより、マイクから入力される自分の声を確認したり  
キャプチャーデバイスから入力されるゲームの音声を自身で聴くことが出来るようになります。

オーディオミキサーの各ソースにある「…」マークをクリックし、  
ソースの編集をクリックします。



ソースの編集画面が開きました。

「音声の監視」の項目にチェックを入れると、有効にしたソースの音声を聴く  
ことが可能になります。



**※注意：「音声の監視」を有効にする場合は「Default Audio Output」をミュートにしてください。  
配信・録画上でゲーム音が二重になってしまう場合があります。**

## 2-7. シーン機能 & ソース (PiP機能)

**「シーン機能」は、現在の画面を違う画面に一瞬で切り替える機能です。**

ライブ配信を行う際に、事前に配信シーンを設定しておけば、ゲーム画面、Webカメラの画面、PC画面、画像、動画、テキスト、Webページなどの「ソース」の切り替えをワンクリックだけで、簡単に行えます。

(視聴者からは画面が一瞬で変わったように見えます。)

各シーンの中で、レイアウトをカスタマイズできるので、自由にお好みのシーンを設定することができます。



『Streaming Center』はピクチャー・イン・ピクチャー (PiP) 機能を搭載し、画面の中に、別枠で他の動画や静止画などのソースを配置することが可能です。

『Streaming Center』を使えば、Webカメラ・画像・動画・Webページ・テキストなどをゲーム画面 (キャプチャーデバイスの映像ソース) に重ねて表示することができ、配信画面を柔軟にカスタマイズできます。

## 1. ソースの追加

Streaming Centerではカメラやキャプチャカードの他に様々なソースを追加することができます。

### ウィンドウキャプチャ

ウィンドウキャプチャはパソコンで開いている様々なウィンドウを直接指定し、キャプチャすることができます。

ウィンドウのプルダウンからキャプチャしたい項目を選択し、OKボタンをクリックしてください。



### 画像

画像はパソコン内に保存してある画像を参照することができます。

選択ボタンをクリックし、開いたウィンドウから画像を指定しOKボタンをクリックしてください。

※対応している拡張子はjpg、png、bmpです



## テキスト編集

テキスト編集はシーン上にテキストボックスを作成できます。  
この画面では編集できないのでOKをクリックしてください。  
テキスト編集ウィンドウが開きます。



### 【表示画面について】



1	使用するフォントを選択できます。
2	フォントに使用する効果を選択できます。
3	フォントの大きさを選択できます。
4	テキストの書式を選択できます。
5	テキストのカラーを変更できます。
6	入力したテキストのプレビューが表示されます。
7	テキストボックスです。 ここに挿入したい文章を入力してください

## 画面キャプチャ

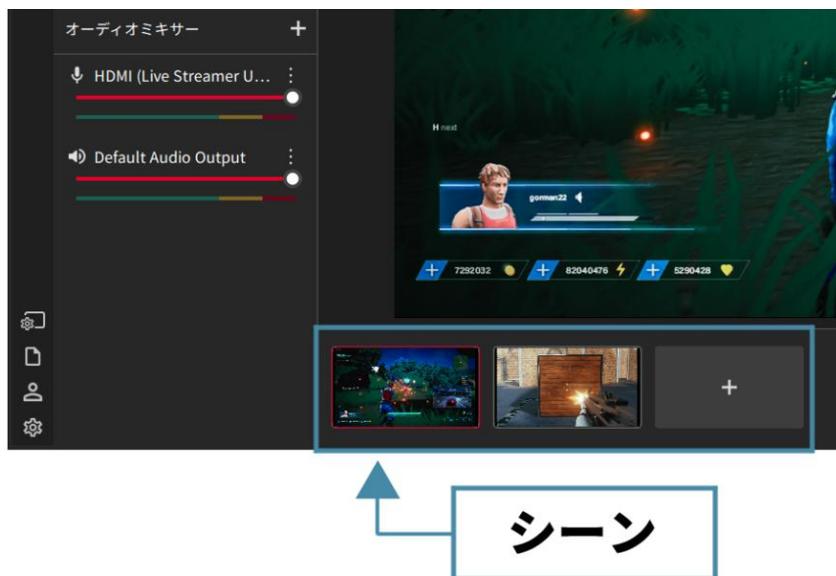
画面キャプチャは指定したモニターを直接キャプチャします。

「カーソルをキャプチャする」を有効にすると画面内のマウスカーソルもキャプチャするようになります。

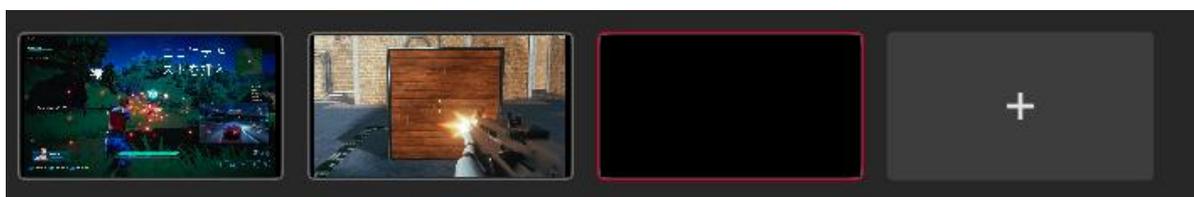


## 2. シーンの追加・管理

Streaming Centerではシーンを追加しておくことで様々な配信画面を即座に切り替えることができます。



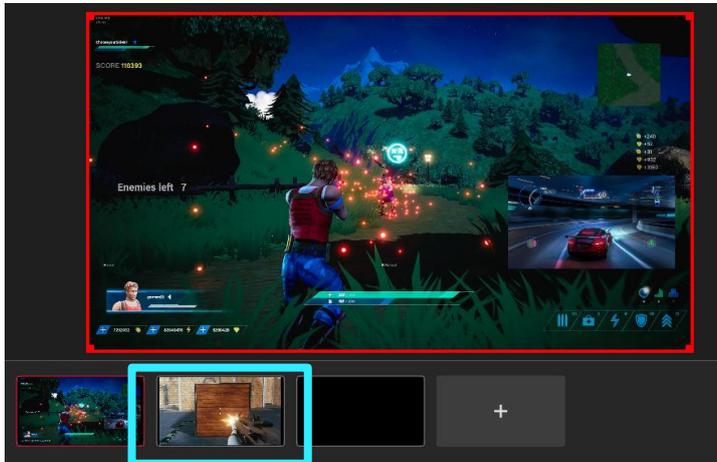
シーンを追加するにはシーンエリアにある「+」ボタンをクリックします。



クリックすると即座に新しいシーンが作成されます。  
予め複数のシーンを用意しておくことで幅広い配信・録画形式を行うことが可能になります。

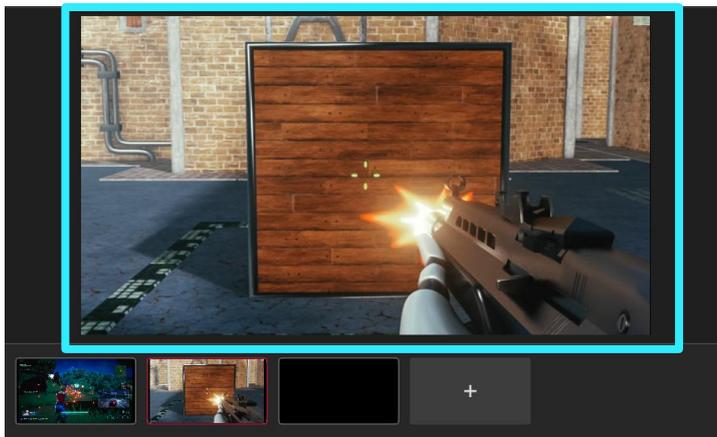
## シーンの切り替え

シーンを切り替えるには「シーン」をワンクリックするだけで、簡単に行えます。  
(視聴者からは画面が一瞬で変わったように見えます。)



⇒現在の表示画面

⇒変更したい画像を選んでクリック！



⇒表示画面が変更されます

## シーンの管理

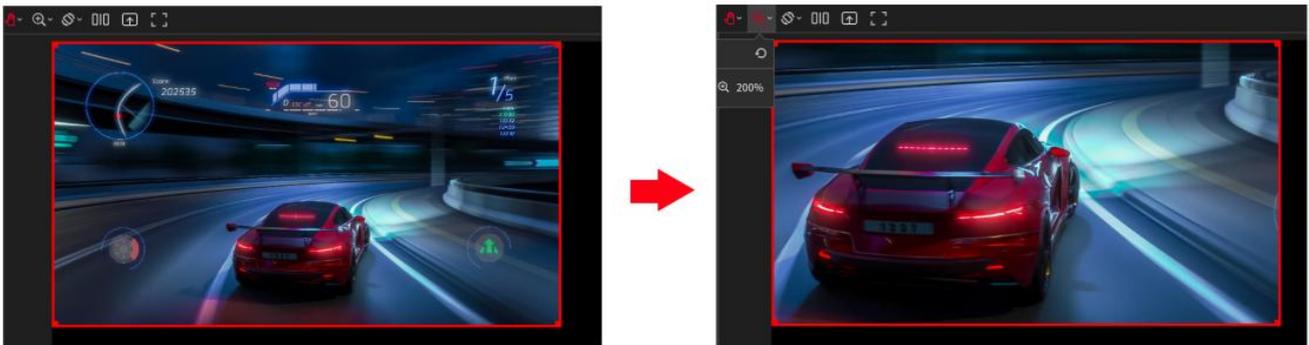
シーンはドラッグ&ドロップをすることで自由に並び順を変更することができます。  
また、シーンを右クリックすることで不要になったシーンを削除することができます。



## 2-8. その他機能の紹介

Streaming Centerには今までご紹介した機能以外にも多様な機能が搭載されています。以下にご紹介致しますので是非ご活用ください。

### 1. 映像ソースのズーム機能



Streaming Centerでは映像ソースを拡大して表示することができます。画面上部の「虫眼鏡」アイコンをクリックすることで選択中のソースの拡大を行えます。



拡大したソースの描画範囲の変更はズーム機能左の「引っ張る」機能を変更することで行えます。

「手」のアイコンに変更した後ドラッグして描画範囲を移動してください。



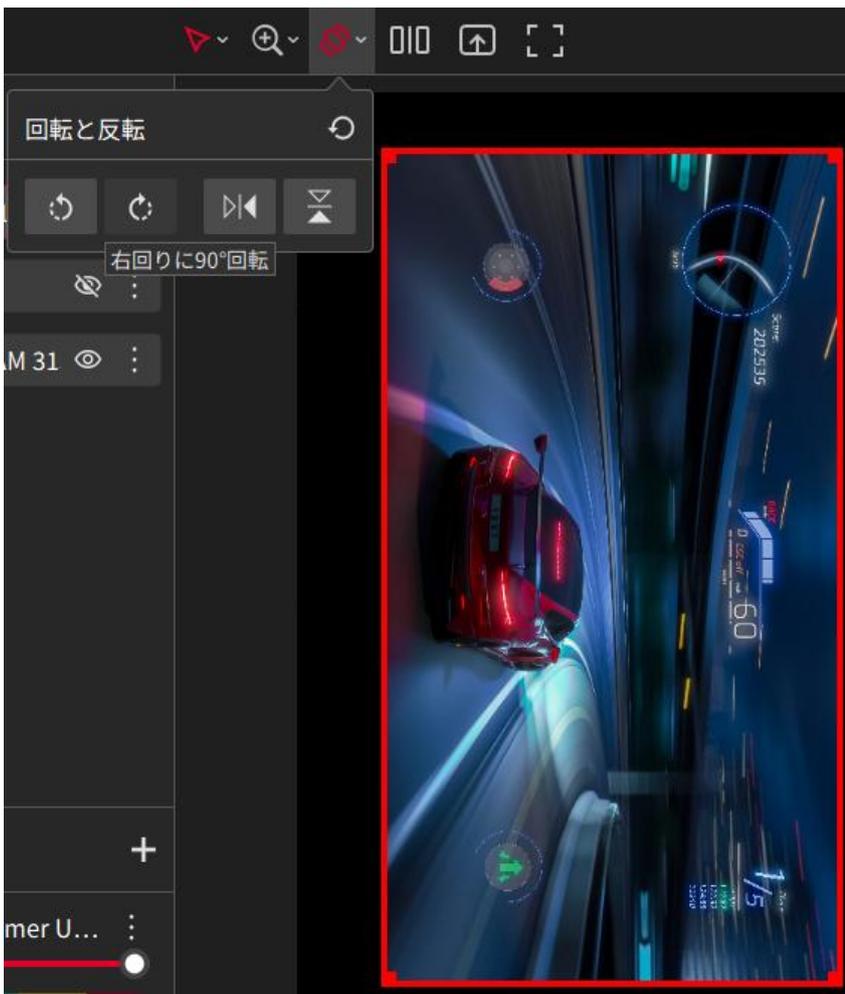
ソースの移動に戻したい場合は「矢印」アイコンをクリックしてください。

## 2. 回転と反転



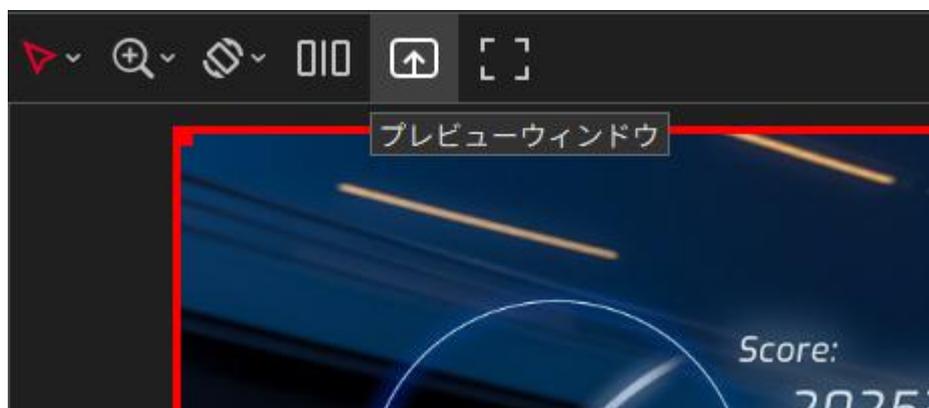
回転と反転では、映像ソースを回転・反転させることができます。

画像だけでなく、Webカメラの映像や動画なども回転・反転させたまま再生することができます。



### 3. プレビューウィンドウ

プレビューウィンドウは現在の設定が反映された実際の配信・録画画面を別ウィンドウで表示することができる機能です。



Streaming Centerを最小化している場合などでも表示できるので、配信中の画面確認などのサブビューとしてご利用ください。



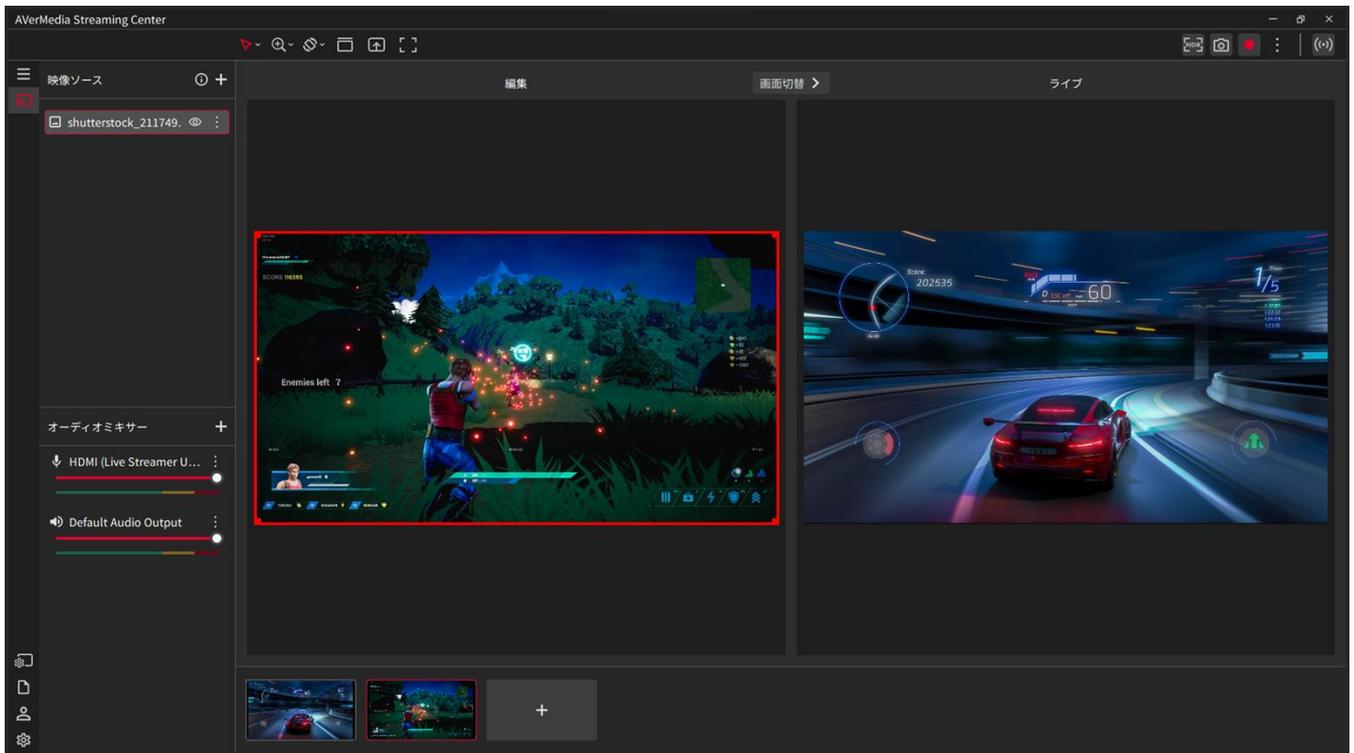
### 4. フルスクリーン表示

現在の設定が反映された画面をフルスクリーンで表示できます。



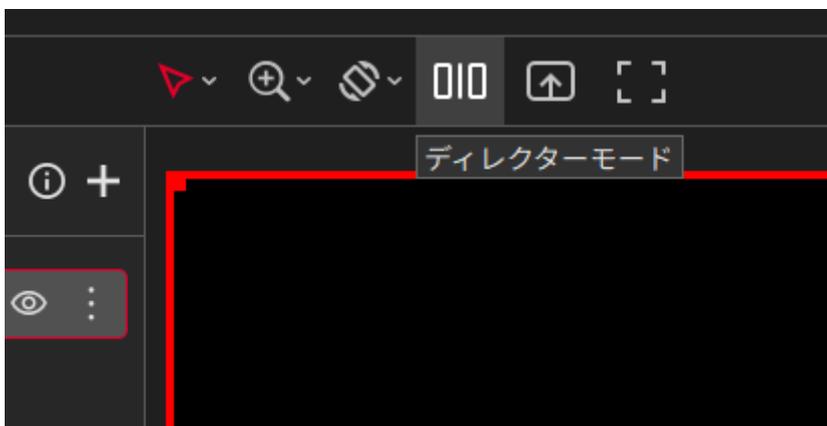
## 第3章：ディレクターモード

### 3-1.ディレクターモードについて



ディレクターモードは配信中にライブ中の画面を変更せず別のシーンを編集できるモードです。

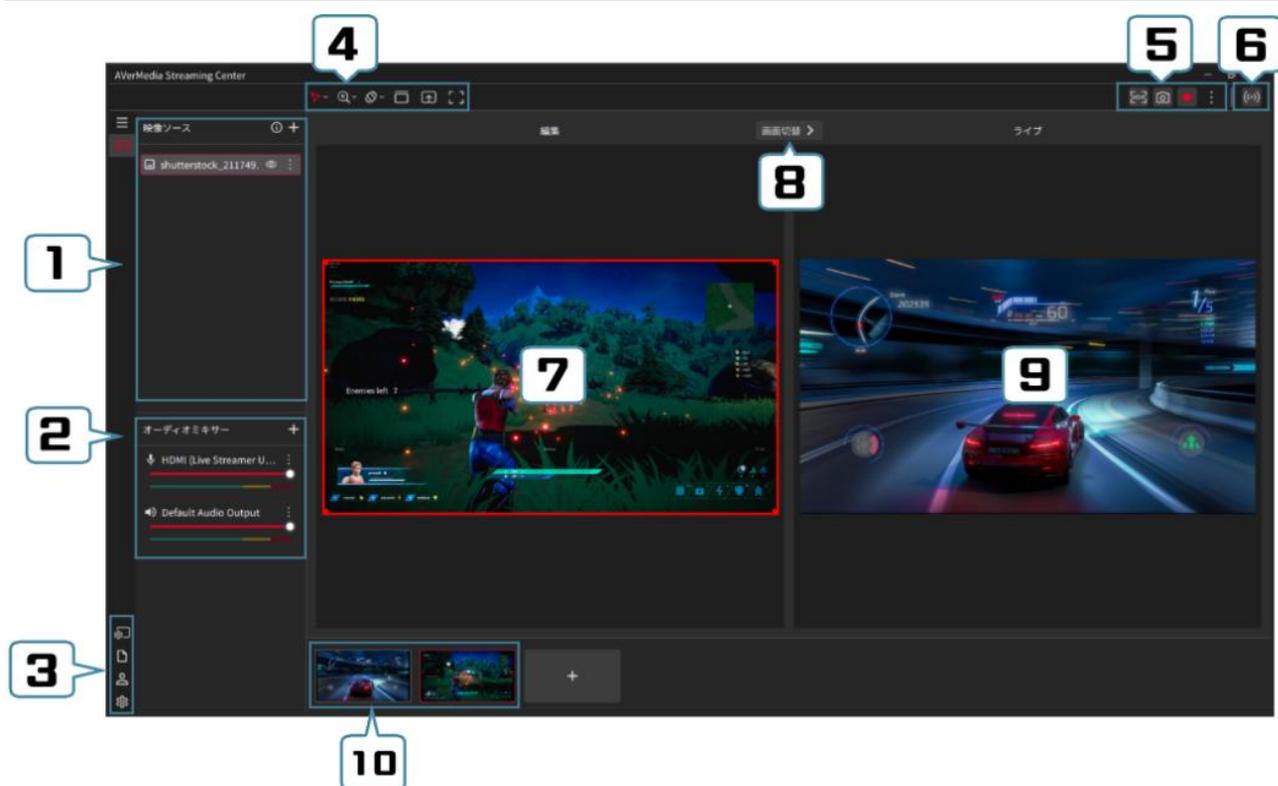
予めシーンを用意していなくても現在のプレイ画面を保持したまま別のプレイ画面を用意するといった柔軟な対応が可能になります。



簡易モードの場合は画面上部のディレクターモードをクリックすることでディレクターモードに変更できます。

簡易モードに戻す場合も同様の操作で戻すことができます。

## 3-2.配信ウィンドウの見方(ディレクターモード)



1	映像ソース	映像ソースを選択・設定します
2	オーディオミキサー	音声ソースを追加・音量の調整 もしくは音量のミュートのオン/オフを切り替えます
3	各種設定	ユーザー情報や各種設定を開きます
4	各種ツール/切り替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像ソースの移動方法を切り替えます</li> <li>ソースの拡大/縮小を行えます</li> <li>ソースの縦/横・反転の切り替えができます</li> <li>簡易モード/ディレクターモードを切り替えます</li> <li>プレビューウィンドウを開きます</li> <li>フルスクリーンモードに切り替えます</li> </ul>
5	録画/スナップショット	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDR録画の有効/無効を切り替えます</li> <li>スナップショット(静止画)を撮ります</li> <li>録画を開始/停止(保存)します</li> </ul>
6	配信開始ボタン	配信の設定はここから行います
7	編集ウィンドウ	ディレクターモードの画面編集はこちらで行います
8	画面切替	編集した画面を配信画面に反映させます
9	録画/配信ウィンドウ	録画/配信中の映像が表示されます
10	シーン	シーンの追加・削除・切り替えを行えます

### 3-3.配信画面の編集・切り替え

ディレクターモードで別のシーンを作成する場合はまずシーンを追加します。

配信されているシーンと同じシーンを編集すると配信画面にも反映されますのでご注意ください。

編集したシーンを適用したい場合は画面切替ボタンをクリックすると編集しているシーンとライブ画面のシーンが入れ替わります。

#### STEP1.シーンを追加する



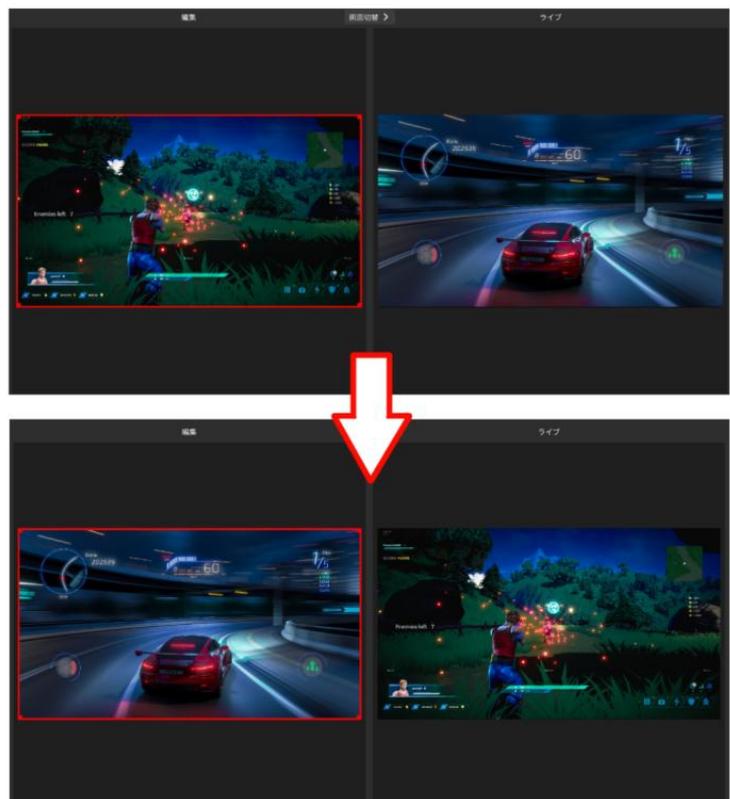
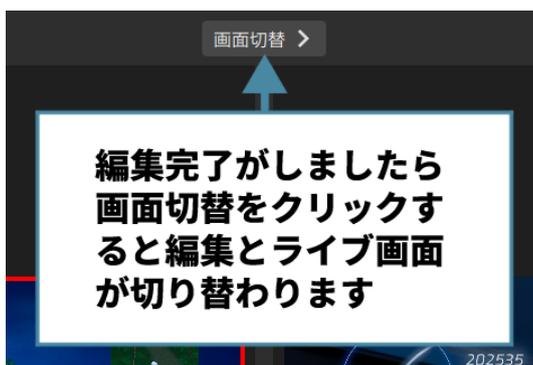
## STEP2.シーンの編集と表示切替

追加したシーンにソースを追加し編集します  
シーン・ソースの追加方法は2章をご確認下さい。



編集したシーンとライブ画面を切り替えるには画面上部の**表示切替**ボタンをクリックします。

表示切替を行わないと編集した画面が適応されませんのでご注意ください。

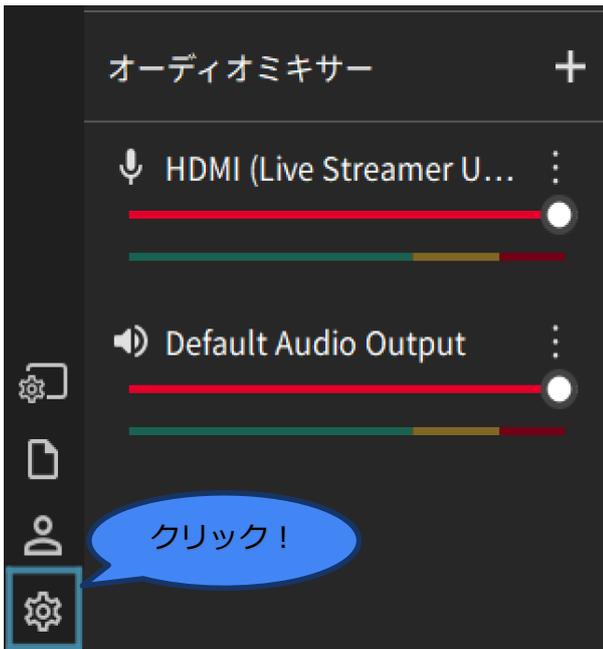


## 第4章: 設定

### 4-1.Streaming Centerの設定

#### 【設定画面の開き方】

Streaming Center画面左下の歯車マークをクリックすると設定画面のメニューが表示されます。



#### 【設定画面】

設定画面の各項目をクリックすると対応した設定の編集を行うことができます。



## 1. 一般

### 【設定画面について】



1	表示する言語を設定します。
2	保存するフォルダを選択できます。
3	マイクノイズを検出した際通知するかどうかを選択できます。
4	VSync(垂直同期)機能の有効/無効を切り替えられます。
5	ソフトウェアの自動更新の有効/無効を切り替えられます。
6	現在のソフトウェアバージョンが表示されます。
7	ソフトウェア改善プロジェクトにご協力頂ける場合は チェックボックスにチェックを付けてください。

## 2. 出力

出力タブではプルダウンで各種項目を調整できます。  
ウィンドウ右の+マークをクリックするとさらに詳細な設定が追加されます。



こちらをクリックすると  
詳細な設定が変更できます。

### AV1 エンコード

高い画質を維持しながらファイルサイズと帯域使用量を大幅に削減できる、進化を続ける映像圧縮技術です。



【対応製品】 GC553G2 / GC553Pro / GC551G2 / GC575 / GC573  
※対応モデルは製品仕様や環境により異なります。

### 3. ストリーム設定

配信に使用するプラットフォームの追加や編集を行えます。



## 4. ショートカットキー

設定のショートカットキー項目では下記5つのショートカットキーを設定できます。

- ・「録画/配信の開始/停止（保存）」
- ・「配信の開始/停止」
- ・「VRR録画モードを有効化/無効化」
- ・「録画開始/停止(ソースまたはSDカード) 」
- ・「スナップショットを撮る」、

【リセット】 ボタンをクリックするとショートカットキーの標準設定 に戻ります。

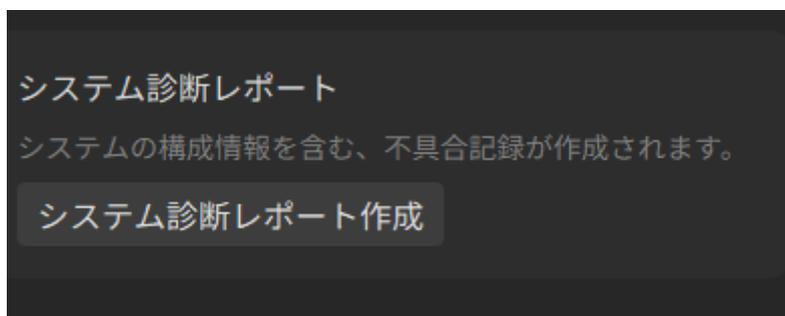


## 5. 不具合報告と機能提案

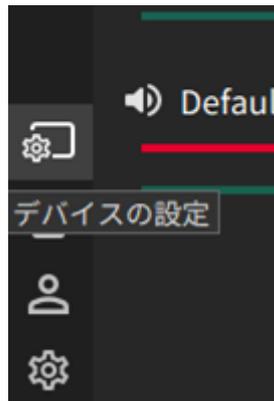
不具合の報告・機能提案が行えます。  
プルダウンよりお問い合わせ項目を選択し、必要な情報を入力して送信ボタンを押してください。

【システム診断レポートを作成】ボタンをクリックすると、自動的に不具合の解析に必要なパソコンの情報、問題発生時の記録、バグレポートなどをまとめたファイルが作成されます。

お問い合わせの際はこちらも併せて送信してください。



## 4-2.デバイスの設定



画面右下にあるデバイスの設定ではパソコンに接続されている「AVerMedia製品」をサポートするAssistCentral Proを起動することができます。

※初回起動時はインストール画面が表示されます。  
ご利用になる場合はAssistCentral Proのインストールをお願い致します。

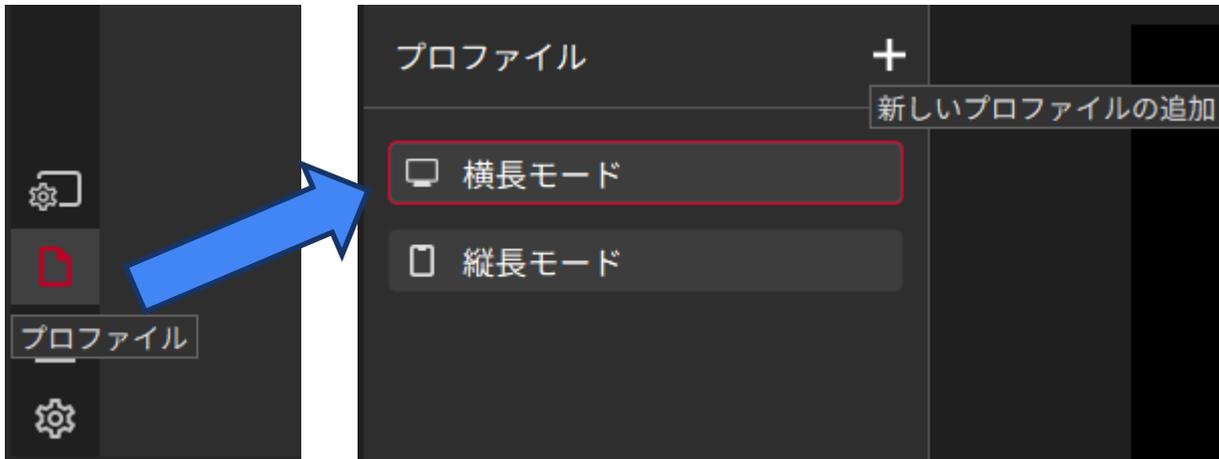
### 【設定画面について】

AssistCentral Proでは対応製品の設定のほか、Streaming Centerのバージョン確認や更新のチェックを行えます。



## 4-3.プロフィール

プロフィールの設定では配信モードの切り替えや、新しいプロフィールを追加することで複数の設定を素早く切り替えることができます。



デフォルトで置かれている「横長モード」「縦長モード」のほか右上の「+」マークから新しいプロフィールを追加できます。

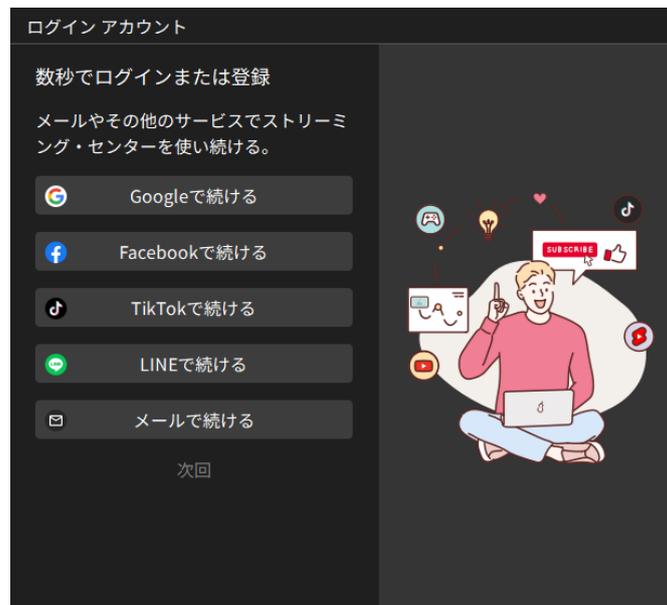
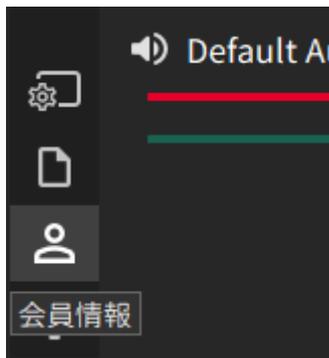


横長モードはPCゲームの配信や、パソコンで見ているユーザーに適しています。  
縦長モードは主にスマートフォンで見ているユーザーに適しています。

## 4-4.会員情報

会員情報ボタンからは「AVerMediaメンバーズクラブ」のログイン、もしくは新規アカウント登録が行えます。

お手持ちの外部アカウント、もしくはメールアドレスを使用して続けるをクリックするとブラウザが立ち上がり、ログイン、または新規アカウント登録画面が開きます。



AVerMediaメンバーズクラブについての詳しい説明は以下のサイトをご覧ください。

AVerMediaメンバーズクラブについて

[https://www.avermedia.com/event/avermedia\\_member\\_club\\_jp/](https://www.avermedia.com/event/avermedia_member_club_jp/)

## 第5章: その他

### **顧客プライバシー保護**

AVerMedia Technologies はお客様との取引やサービスを提供するためにお客様の個人情報を収集し、その範囲内で収集した個人情報を利用します。

また、収集したお客様の個人情報は、お客様の承諾を得ない限り、特定の法的要件の下で法令、命令があった場合を除き、第三者には提供・開示しません。

- ・アバーメディア・テクノロジーズ株式会社 (AVerMedia Technologies Inc.)

Webサイト: <https://www.avermedia.co.jp>

### **お問い合わせ**

ご購入前の製品に対するお問い合わせ、その他のご質問、

ご購入後の製品の修理と技術的なお問い合わせ:

アバーメディアサポートセンター: [Support | Technical | AVerMedia](#)

※受付時間: 9:00~17:00 月~金曜日 (祝祭日を除く)

※詳しくは AVerMedia 公式サイトの【サポート】 → 【保証について】をご参照ください。

### **ご注意**

- ・仕様および外観は製品改良のため、予告なく変更されることがあります。
- ・本製品を使用したこと、または使用できないことによって生じるあらゆる直接的・間接的損害に関して、AVerMedia Technologiesは一切の責任を負いません。
- ・本製品で記録したものを、私的な目的以外で著作権者や他の権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することは著作権法や国際条約の規定により禁止されています。
- ・「AVerMedia」は AVerMedia Technologies, Inc. の商標 (または登録商標) です。その他、記載されているすべての商標は各社の登録商標または商標です。